

第4次秋田市食育推進計画

元気なあきたは食事から
～食を通じて健康な心と体をはぐくもう～

令和8年3月
秋田市

はじめに



「食」は私たちが生きる上で欠かせない営みであり、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが、様々な経験を通じて「食」に関する正しい知識を身に付け、健全な食生活を実践することが大切です。

幸いにも本市は、出羽山地と日本海に囲まれた肥沃な土地にあり、新鮮な農産物や水産物等が身近に手に入ることから、日常的に豊かな食生活を実践できる環境にあります。

この恵まれた環境を生かしながら食育を推進するため、本市では、平成24年に初めて食育推進計画を策定してからこれまで、食に関する体験イベントの開催や伝統的な食文化を継承する機会の提供などに取り組んできたところです。

近年、「食」に関する問題は、社会情勢の変化などにより複雑化しています。

例えば、原材料費や燃料費、人件費等の高騰に伴い、食品価格の値上げが断続的に行われていることや、食の外部化、簡便化志向など食の在り方の変化等に伴う食生活の乱れ、食料生産のグローバル化等により家庭の食卓と生産現場との距離が遠くなっていることによる「食」への意識の低下なども食育をめぐる全国的な課題と捉えられており、これらは本市においても取り組むべき課題であると考えております。

こうした食を取り巻く環境の変化に包括的かつ適切に対応するため、このたび、「第4次秋田市食育推進計画」（令和8年度～令和12年度）を策定しました。

本計画では、第3次秋田市食育推進計画までの「元気なあきたは食事から」という基本理念を継承しつつ、食育の現状や課題を踏まえた上で、主に若い世代の成人をターゲットとした「大人の食育」を新たに重点的な取組として位置付けたほか、地元食材を使用した料理体験や収穫体験などを通じて生産現場に対する理解を深める取組の拡充を図るなど、新たな視点を取り入れております。

また、本計画に基づく数値目標の達成に向けて、市民一人ひとりのライフステージに応じた取組を進め、市民の皆様がより主体的に「食」に関心を持ち、健全な食生活を実践できるよう、家庭や事業者、関係機関などと連携・協力しながら、引き続き食育の推進に取り組んでまいります。

本計画の策定にあたり専門的な見地から貴重なご意見をお寄せいただいたアドバイザーをはじめとする関係者の皆様、さらに、日頃から食育に関する取組にご支援・ご協力くださっている皆様に心から感謝申し上げます。

目次

第1章 基本的な考え方	
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 基本理念	2
4 計画の期間	2
第2章 食育の現状と第3次計画の成果	
1 食育の現状	3
2 第3次計画「計画推進の指標」の成果	4
3 第3次計画「これまでの取組と課題」	5
第3章 第4次計画の取組	
1 基本方針と主な取組	7
基本方針1 食を通じた健康づくりの推進	7
基本方針2 基本的な食習慣の形成と定着	11
基本方針3 食に関する実践活動の促進	13
基本方針4 地域の食と食文化への理解促進	15
2 数値目標	17
第4章 ライフステージに応じた取組の視点	19
第5章 計画の推進	
1 計画の推進体制	21
2 計画の進捗管理	21
3 食育を推進する場と期待する役割	22
資料編	
食育基本法	23
秋田市食育推進委員会設置要綱	31
第4次計画の策定経過	32